

こんにちは♪

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです!



共同の力で一保護所実現

今日は、とても嬉しいことをお伝えしたいと思います。それは、室蘭児童相談所（室児相）苫小牧分室に、一時保護所が設置されることになったのです。室児相管内のうち、苫小牧での虐待事案などが7割を占めています。苫小牧分室には一時保護機能がないために、子どもを緊急に保護する場合は室蘭まで行かなければなりませんでした。そのため、東胆振や日高地域からも、苫小牧に一時保護機能があることが望まれていました。

室児相苫小牧分室は、2021年に設置されました。苫小牧分室が設置されるまでは、室児相の職員さんが月2回苫小牧に来て、相談業務を行っていました。しかし虐待相談が増加し、月2回では追いつかず、私は「もっと相談業務を充実すべき」と訴え、苫小牧市役所に常駐するようになりました。

しかし、子どもたちの安全のためには、迅速に、手厚く対応する必要があるため、苫小牧分室の設置が必要です。私たち市議団も、苫小牧分室の設置を北海道に求めてきました。市議会でも超党派で訴え、民生委員さんたちの運動もあり、やっと実現したのでした。

苫小牧分室が設置されて間もなく、市議会の議員有志で苫小牧分室の職員さんと懇談をおこないました。職員さんは、苫小牧分室ができたことで抜群に機能が強化された反面、一時保護所がないことが課題だと言います。しかし、当時市の担当部長は「一保護所があるのが本所で、ないのが分室だ」と言って、苫小牧分室への一時保護所設置は不可能だという姿勢でした。

そこで、私たちは毎年度庁に行き、一時保護所の設置を求めてきました。同時に、市長に対し北海道に要請するよう訴えてきました。去年は、東胆振と日高地域の市と町、各議会で作る期成会や、民生委員協議会からも北海道に要請しています。「不可能」から出発しましたが、多くの共同の力で実現したのです。

しかし、本当は児相も一保護所もなくとも良い社会にすることが必要なのだと思います。子どもたちの笑顔を守るためには、社会が明るく元気になることだと思います。「子育てするなら共産党の政策が1番」と信じて私は共産党に入党しました。それは、今も変わりません。ますます頑張りたいと思います。